

6T60

第八
80

秘

本軍 陸軍省 第七師團 第一

第七師團ノ滿洲派遣並第八師團及混成第十四旅團

ノ内地歸還ニ關スル命令傳宣濟ノ件通牒

昭和九年一月二十日

參謀總長 載 仁 親 王

陸軍大臣 荒 木 貞 殿

首題ノ件ニ關スル別紙命令傳宣濟ニ付通牒ス

芳三久



陸 軍

極秘

寫
臨參命第三十六號

命令

一左ノ部隊ヲ滿洲ニ派遣シ若ハ内地ニ歸還セ
シム

派遣部隊

第七師團

歸還部隊

第八師團

混成第十四旅團

0920

二第七師團ハ二月上旬ヨリ逐次其衛戍地ヲ出發スヘシ

三關東軍司令官ハ第七師團ノ滿洲到着ニ伴ヒ逐次混成第十四旅團及第八師團ヲシテ各其衛戍地ニ歸還セシムヘシ

四第七師團ノ諸部隊若ハ第八師團及混成第十四旅團ノ諸部隊ハ日滿國境通過ノ時ヲ以テ關東軍司令官ノ隸下ニ入り若ハ隸下ヲ脱スルモノトス

五細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和九年一月二十日

奉勅 參謀總長 載仁親王

關東軍司令官 菱刈 隆殿
第七師團長 杉原美代太郎殿

0923

滿洲 七五號

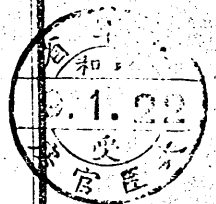
電報譯

一月二十日 午前午後 六時三十分 著

陸軍大臣 宛 發信者 七師團長

滿洲派遣ノ大命ヲ拜シ光榮ノ至リナリ。團下
將兵ノ士氣愈々アカル、皇軍ノ威武ヲ發揚セ
ンコトヲ期ス、右御挨拶申上ク

第 二 二 號



陸軍電信著信紙 0924

日

文	本	指 定	受氏 人名
	マンシユウハケンノタイメイヲハイシコウエイノイタリナリ、ダ ンカシヤウヘイノシキ イヨイヨアガ ル、コウグ ンノイブ ヲハツヨウセン コトヲキヌ、ミギ ゴ アイサツ モウシアグ セシオオ	ムヨ	リクバ ンダイ ジン
		事 記	
		三	
		ソウテウ ー ジテウ ー	
			日 附 印
			陸軍省

受信時刻
午後七時三〇分

夕 技 手

二六 著信番號

注 意

受信當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
受付時期ノ表示申下アルハ午前九時下アルハ午後ヲ示ス

陸軍省

0925



關東軍一電第一二二號
第七三三其三

軍命令内報ノ件

昭和九年一月二十二日 關東軍參謀長小磯

陸軍次官柳川平助殿

第七師團長ノ到着ニ際シ別紙ノ如ク命令セラルル豫定ニ付内報ス



秘

關東軍命令第

號

關東軍命令

於新京軍司令部

一 第七師團ノ滿洲派遣並混成第十
 四旅團及第八師團ノ凱旋ニ伴ヒ
 部署ノ一部ヲ變更セントス
 二 第七師團長ハ其隸下部隊ヲ以テ
 速ニ錦州及熱河方面ニ到リ彰武
 縣、黑山縣、台安縣、磐山縣以西ノ奉
 天省及熱河省ノ治安維持同地域
 内ニ於ケル鐵道及重要通信諸施

設ノ保護並ニカ工事掩護ニ關ス
 ル混成第十四旅團長及第八師團
 長ノ現任務ヲ繼承スヘシ
 特ニ古北口馬蘭峪及建昌營等長
 城附近ノ要點ニ一部ノ兵力ヲ配
 置シ支那側停戦協定遵守ノ情況
 ヲ監視スヘシ
 第八師團司令部承德出發後其司
 令部ヲ承德ニ位置セシムヘシ
 治安維持ニ關シ擔任地域内ニ於

ケル隷下若ハ指揮下ニアラサル
 日滿軍警ヲ區處スルコトヲ得
 三前項任務ノ交代ニ伴フ責任ノ轉
 移ハ混成第十四旅團方面ニ在リ
 テハ二月十三日第八師團方面ニ
 在リテハ三月十一日ト定ム
 四混成第十四旅團長ハ其指揮下ニ
 在ル第三獨立守備隊ノ歩兵大隊
 ヲ任務ノ交代ト共ニ其現在地ニ
 於テ第七師團長ノ指揮下ニ入ラ

シムヘシ
 五第八師團長ハ其指揮下ニ在ル自
 動車三中队ヲ任務ノ交代ト共ニ
 第七師團長ノ指揮下ニ入ラシム
 ヘシ
 六第七師團長ハ前々項獨立守備隊
 ノ部隊ヲシテ第七師團編制内部
 隊ト交代セシメナルヘク速ニ奉
 山鐵道沿線ニ配置シ又前項自動
 車中队ヲ以テ第八師團ノ凱旋ニ

伴フ鐵道沿線集結ニ要スル諸輸
送ヲ援助セシムヘシ

○七兵站監事務取扱ハ三月末日以降
關東軍兵站監部朝陽出張所ヲ撤

スヘシ

八細部ニ關シテハ軍參謀長ヲシテ
指示セシム

關東軍司令官 菱刈大將

下達法

70 先遣参謀ニ手交

14B PD 豫メ内報シ發令ト共ニ電報ス

兵務監事務取扱印刷交付

通報先

内長官 DD K IGS 2GS 2AA 9SA FA 3TL FM 3TK E 自警司要無犬鳩
部次次 10 14 K IGS 2GS 2AA 9SA FA 3TL FM 3TK E 自警司要無犬鳩

站廠敵踏庫民南田野機機機軍駐平海軍
兵航山倉廠豫多菅吹奉熱吉有朝支北上海

極秘

關東軍命令第五六二號

關東軍命令

一月二十二日午前十時
於新京軍司令部

一 混成第十四旅團及第八師團ハ
 大命ニ依リ凱旋セシメラル
 二 混成第十四旅團長ハ二月十三
 日又第八師團長ハ三月十一日
 夫々現任務ヲ新ニ到著スヘキ
 第七師團長ニ委讓シ其隸下部
 隊ヲ以テ別紙輸送概要(後送ス)
 二 基キ京圖線經由各々其編成

地ニ歸還スヘシ
 第七師團ノ諸隊ハ各半部ヲ以
 テ二月七八日及三月五六日清
 津上陸後直チニ其任地ニ向ヒ
 前進スル筈
 右諸隊ハ日滿國境通過ノ時ヲ
 以テ予ノ隷下ヲ脱シ若ハ予ノ
 隷下ニ入ルモノトス
 三關東軍鐵道線區司令官ハ前項
 ノ行動ニ伴フ鐵道輸送ヲ處理

スヘシ

四細部ニ關シテハ軍參謀長ヲシテ指示セシム

關東軍司令官 菱刈大將

下達法 14B 電報、後印刷送付、線送印刷送付

通報先 7D 先遣參謀ニ手交

部	内	次	長	官	D	K	K	IGS	IGS	IGS	9SA	2AA	FA	3TL	3TK	FM	E	自	警	司	
要	無	大	鳩	右	敵	敵	路	庫	良	備	田	野	核	核	核	核	核	核	核	核	核
旅	團	軍	軍	兵	兵	船	山	倉	病	平	多	菅	冷	奉	熱	吉	齊				
軍	駐	手	海	軍																	
支	北	上	海																		

開

次官

閱

動員

〇

陸備

陸軍

陸軍

9360

陸軍第七三〇號

陸軍省
9.2.25
陸軍大臣

手印

第

號

電報譯

二月二十四日午前

午後一時三十分著

陸軍大臣宛 發信者 混成第十四旅團長

混一四参電七三六

旅團長ハ第一次輸送船ニ依リ無事小

樽港ニ上陸ス、海路平安ニシテ將兵ノ

士氣愈々旺盛、輸送亦順調ニ進捗シ

アリ

陸軍省
9.2.27
陸軍大臣

陸軍省
9.2.27
第14旅團
動員課

9.3.11
陸軍省

09360

第 七 三 五

秘

参同文

電報譯

二月二十七日午前八時三十分著

大臣宛 發信者 第七師團留守司令官

七留参八回
混成第十四旅團各部隊ハ二月二十七日無事
各衛戍地ニ帰還ス

軍知照
2.23
受官臣

第

9.3.5
軍務課

號
9.3.1
第14
動員課

閱

動員

軍務

4860

陸軍第七三師第六

參同文

電報譯

五月二日午前八時五分發

陸軍大臣宛

發信者

第七師團長

第 號

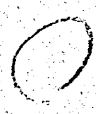
軍務
和服
9.3.2
陸軍省

陸軍省
9.3.5
山
陸軍省

陸軍省
9.3.2
第14
動員課

七参九一、
第二次輸送、函被集船部隊ハ三月八日午後、
小樽集船部隊ハ三月二日午前、夫々發
成地ヲ出發ス

10 8360



備後七三

秘

電報譯

三月三日午前二時十分發

陸軍大臣宛

發信者

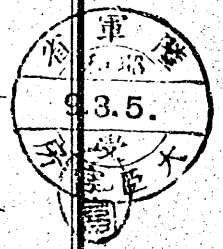
第七師團留守長官

七留守八五

第二次派遣小樽第船部隊ハ三月三日午後

三時司令ヲ樽港ヲ出帆ス

参考文



陸軍省

0939

補任

補任

補任

補任

機密七三〇六八

電報譯

三月七日午前九時五分發

高千穂副長宛

發信者

第七師團參謀長

第

號

第七師團司令部ハ三月七日錦州ニ到着シ
九日承德ニ到着シ十日ハ以テ第八師團司令部
部ト引継キ完了シ豫定

軍
9.3.7.
陸軍省

陸軍省
9.3.8.
47
軍事課

陸軍省
9.3.8.
第14
動員課

陸軍省
9.3.9.
43
補任課

関

0940

機密七三九

参同文

秘

大臣宛

發信者

第八師團長

電報譯

三月二十六日午前八時三十分發

第 號

八師團長
歩兵第十六旅團司令部、歩兵第十七旅
隊、歩兵第三十二聯隊、第一大隊及工兵
第八大隊、三月十六日朝毎事、清津に到
着す

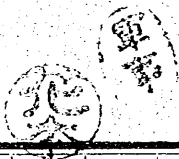
9.3.17

9.3.20
42

9.3.19
第14
動員課

2/

0941



陸軍省
第九三三號

陸軍省
第九三三號

電報譯

三月二十六日 午前七時四十分 發

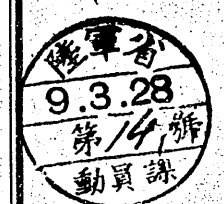
第 號

大臣宛

發信者

第八師團留守司令官

留郵券一六九
第一次帰還
日乃至二十六日無事
各衛戍地ニ属
者ニ



22

0942

開

備案七三三二

矣同文

電報譯

四月六日 午前午後 七時五分 發著

大臣宛

發信者

第八師團長

郭冬

左記ノ通り無事衛戍地ニ飯還一同志氣

旺盛ナリ

第四旅

三月三十一日 (二十六日)

六日午前十一時四十分

野砲八 (二十六日)

六日午前十一時五十分

陸軍 9.4.10 軍事

軍 9.4.7. 大臣

號

陸軍省 9.4.9 第14號 勳員課